

新連載 エスディエス SDGsに取り組む市内団体を紹介

教えて!みんなのSDGs ①

問 政策調整課(☎025-226-2066)



「もったいない」をなくす

同クラブでは、市内企業から提供された賞味期限切れの商品を安く販売することで食品ロス削減を目指すプロジェクト「ばくロス」に取り組んでいます。「SDGsについて調べていた時に食品ロスの問題を知り、『もったいない』と感じたことが活動を始めたきっかけです。まだ食べられる食品がたくさん廃棄されている現状を、多くの人に知ってもらいたいです。『取り組みで得た収益はユニセフや緑の募金に寄付し、飢餓の削減や森林環境の整備などにも貢献しています』

県立新潟商業高等学校 商業クラブ



誰でも食品ロス削減に貢献できる

「地域の商店街やイベントへの出店、校内での販売活動、Instagramを活用した情報発信などを今後計画しています」。出店料など運営費用を集めるため、校内での募金やクラウドファンディングもしているそうです。

「廃棄予定の規格外品などを通常より安く買えるショッピングサイトなど、誰でも日常生活の中でお得に食品ロス削減に貢献できる仕組みがあります。私たちの活動をきっかけに、多くの人が食品ロス削減に取り組んでもらえたらうれしいです」と話してくれました。



▲9月4日の沼垂テラス商店街での出店の様子。用意した商品は販売開始後20分ほどで完売

連載 新潟市への進出企業を紹介

ニイガタで始める。③

問 企業誘致課(☎025-226-1689)

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都) クオリティマネジメント本部

中島 佑基さん

必要な人に必要な広告を

同社はデジタル広告に関わる事業を展開している会社です。新潟オフィスでは主に、ユーザーが検索した言葉に関連する広告を表示させる「運用型広告」のサポート業務を担当しています。

「新潟は大学や教育機関が多く、さらに堅実で芯があり懐の深い県民性もあり、優秀な人材と出会う場所です」と中島さん。東京とのアクセスの良さ、食文化や住環境の豊かさなども新潟にオフィスを構える理由になったそうです。



▲今年の新潟シティマラソンに同社のメンバーで出場するという中島さん。「黄色のおそろいのTシャツを着て、頑張ってます」

新潟をデジタル広告の拠点へ

中島さんは中途採用で同社に入社。福島県出身で、大学から前職までは関東で暮らしており、現在初めての新潟生活を満喫しています。「新潟はとても住みやすいです。季節の変化を感じられるところが一番の魅力ですね」中島さんの目標は、新潟オフィスを営業や開発などの業務もできる、大きな拠点にすること。「新潟の特産品をデジタル広告で全国に発信することができたらいいなと思います」と笑顔で話してくれました。



同オフィス所在地 中央区上大川前通6
同オフィス設立 2019年2月
同オフィス従業員数 129人(今年9月時点)

連載

Noism を探る ②

りゅうとぴあ劇場専属舞踊団「Noism Company Niigata」を3回にわたって取り上げます。

問 文化政策課(☎025-226-2560)

スマートフォンのこちらから



来年1/20から公演開始 「Der Wanderer—さすらい人」

来年1月20日から冬公演「Der Wanderer—さすらい人」を開催します。音楽家シューベルトの歌曲を使って、同舞踊団の芸術総監督である金森穂さんが演出、振り付けを担当します。

■同公演の特徴

Noismの目指すべき方向性は「一人一人がソロで立てるだけの力量を有した個人の集合」と考える金森総監督。メンバーそれぞれの紡ぐ詩が、互いに関係し合っ立ち上がる1つの世界を届けます。



9月から国際活動部門芸術監督に就任 井関佐和子さん



(写真左)提供:新潟のローカルなウェブマガジンThings (写真右)撮影:篠山紀信



Noism Company Niigataは、9月から「国際活動部門」と「地域活動部門」の2つを活動の柱とした新体制へ移行し、井関佐和子さんが国際活動部門の芸術監督に就任しました。井関さんはこれまでNoismの副芸術監督を務め、金森穂作品では常に主要なパートを担ってきました。今後は、国際的視座に立った舞台芸術の製作や、ツアー公演などの事業企画を担当します。

井関さんからのメッセージ

18年の歴史を持つNoismが、ここからまた新しい章に入ります。その瞬間にこうして私自身が国際活動部門芸術監督として携わることに、大いなる責任を感じます。今回の冬公演はメンバーにとっても新たなスタートとなります。それぞれの魅力を作品として皆さまに届けられるよう、稽古に励んでいます。

新潟の冬は寒く厳しいですが、新生Noismはその寒さを吹き飛ばす熱量の舞台をお届けしますので、ぜひ公演へお越しください。

10/15からチケット一般販売

日 来年1月20日(金)～2月4日(土) ※全11公演

場 りゅうとぴあ(中央区一番堀通町)

¥ 一般5,000円、25歳以下3,000円、高校生以下1,000円

※チケットは同施設オンライン・チケットで販売。10月16日(日)から同施設でも販売

問 同施設チケット専用ダイヤル(☎025-224-5521)

スマートフォンのこちらから



定期的に検診を受けましょう。

問 健康増進課(☎025・212・8162)